

会報 1985/NO.11

昭和60年 7月29日発行



長野県建築設計監理協会

長野県建築設計監理協会事務局＝

〒380 長野市南長野麦科426-1 長野県建築士会館

住まいと環境

衣・食・住と言いますが、衣・食に比べ住(建築)の知識は薄いのではないのでしょうか。あなたの周辺で一つの建築ができあがると、その周辺の街の様子が一変することに気づかれたことがあると思います。それは良くなる場合もありますが反対に悪くなることもあるのです。建物が単に一つのものでなく、環境に強い影響を持っている証拠です。

会と会員

長野県建築設計監理協会の会員は、建築設計監理の専門家の集団です(会の名前のうち監理については後で述べます)。

設計とは

設計とは、単に紙に鉛筆で図面をかくことのように思われていますが、実は図面に表わされる段階になれば設計という仕事の大部分が終わっているのだ

と言っても過言ではありません。図面化する前に、住む人の生活を考え、その建物の美しさ、丈夫さを考え、更に街なみを、環境を考えなければなりません。そのために周到な事前調査、設計者の蓄積された豊富なノウハウ、建てる人との話し合いなどに十分な時間を費すのです。

建築設計監理とは

監理とは

その道の専門家による第三者の監査機能が必要になります。私達が「監理」と言っている仕事は、設計が終わり工事が始まる時点から完成まで、またその後のアフタケアまで、建てる人(建築主)と、工事をする人(建設会社)の中間の立場で工事全体を監査することを言います。

私達会員は、建設会社、建築材料製造、販売会社などと利益上の関わりが無いことを会員資格の条件としております。

設計料について

医師、弁護士は営利追求の仕事でないことはご存知でしょうが、私達の仕事も同質であると考えております。正当な報酬については建設大臣の告示が出ておりますし、会員は当然これに値する仕事をするをお約束します。

おすび

会員は、社会、地域、建築主、建設会社の信頼に応える良い「しごと」をする使命感を持って行動いたしております。何ごとによらず協会または会員にご相談、ご質問くださることを期待いたしております。

(長野県建築設計監理協会)

も く じ

「柱の建つ時」	小松 蒼一	3
設監協 NEWS		4
「東日本連絡協議会に参加して」	宮本 忠長	5
「定勝寺に思う」	溝端 利一	6
「調和のある空間」	依田 博基	7
《会員事務所作品紹介》	一(株)桂建築設計事務所	8
「英国における町づくり」	信州大学教授・岡村 勝司	10
テクニカルシート	一(株)日立製作所・井上エムテーピー(株)	12
賛助会員名簿		13
会務報告・正会員名簿・編集後記		14

■表紙 開智学校(重要文化財=松本市)
1876年4月新築開校式をあげたこの校舎は、開成学校を模したもので、中央に風見柱を配した八角塔がそびえ、窓には舶来の「ギヤマン」を取り付けた極彩色の洋風建築。旧開智学校校舎として1961年に重要文化財に指定され、1963年に開智2丁目に移築復元された。開智とは1872年8月の『被仰出書』の「智ヲ開キ才芸ヲ長ズル」からとったものといわれている。

(写真:県文化課提供)

柱の建つ時

小松 蒼一



自然の美しさ、芸術の美しさ、人格の美、建築の美、音の美しさ等々美は人間の前に色々と立場や場所や形態を変えて立ち現われ、私共を引き付けて止まない。私はかつて若い頃、人はその人となりを見わすものひとつとして、五感による個人差が個性の大きな要素だと考えた。即ち耳のすばらしく発達した人は、音の世界を深く理解し、音と関わりをもって生きる。目の発達した人は目を通して考え、行動し、目のきく仕事をする。従って建築をライフワークとして考えた場合、できることならすべての感性が豊かな人間が行うべき仕事ではなからうか。私のような欠陥人間の取り組むべき仕事ではないのでは、と悩んだこともあった。しかし若い時の情熱がそれをおしのけたのであろうか、厚かましくも今建築に取り組んでいる。さて、しばらくの間屁理屈を並べてみたいのでおつきあいを願いたい。

人間は一般の動物と比べて本能が低下していると思う。本能とは生物の行動を司ったり、その生命を保存する方向に作用する内面的な力とも言えようか。動物のこのような本能の役割を、人間の場合現実的には社会制度が背負っているし、また補っている面が多いと思う。人間のもっている動物本能の役割が、社会制度によって極めて洗練された形で代行されているという事は確かな事実であろう。その制度の中で人間は一体何をするのであろうか。人間という生命のある存在者が本能の代行を社会の中に依存しているのなら、人間は本能を発揮するために自らの生

命力をさく必要がなくなってくるので、当然他の面で発揮せざるを得ない。“知る”あるいは“作る”という面においてである。精神的な本能の欲求を十分に活動させる場面を社会が与えているならば、正しく文化とか芸術がそれであろう。人間と動物を区別するひとつの指標は無形の感念的生産を形や色や記録によって保持し、その上に立って次の世代を築いていくことができるという点ではなからうか。

バイオテクノロジーという神にとって正に“注意事項”に属する事に人間が取り組み始めた。ダーウィンの「個体発生は系統発生を繰り返す」と言った時代は去ろうとしている。作るという事、造るという事の中に人間にとって大切な“美の創造”がある。創造と制作は似ているが、実は大きく違っている。制作とは多くの異なるものから一つのものにまとめ上げていく事である。これに反して創造とは、多くの異なるものを生み出すことのできる“もと”のものを作ることである。創造の結果として生まれてきたものから、さらに他の異なるものを生み出していく生命をもったものでなくてはならない。

私共のつくる建物の柱にはそんな祈りが込められているのであろうか。柱の建つたびに身の引き締まる想いがし、色々な事が想い出されて止まない。

小松 1 級建築士事務所 所長

第17回通常総会開かる

昭和60年度第17回通常総会が、去る6月22日(土)午前11時より長野市の厚生年金会館において開催された。尾島副会長の開会の言葉で始まり、次いで宮本会長があいさつ。58年度に発足した技術交流会が内外共に好評価を得ていることについて、賛助会員に感謝の意を表し今後の協力を願うと共に、これからも職能の確立を目指したい、と強調。また設計組織を大切にす意味で発足させた所員部会についても理解を求めた。続いて議事に入り、第1号議案から第5号議案までが承認され、1時間余りで終了した。

当日は来賓として、長野県住宅部長・奥原昭人氏、信州大学工学部建築工学科教授・岡村勝司氏、(社)長野県建築士会会長・伊藤宗春氏、(社)長野県建設業協会副会長・松林好助氏、(社)長野県電設業協会副会長・日極兼次氏、長野県建設工業新聞社・伊澤輝芳氏(代理宮下文夫氏)、日本建築設計監理協会連合会副会長・永井賢城氏、以上の方々に御臨席を賜り御祝辞を頂いた。

祝辞の中で奥原住宅部長は、日頃の住宅行政参加に感謝の意を表し、昨今の建築関係業界の停滞について関連行政機関で憂慮していると述べた。また住宅事業の拡大推進を重点とした県政を進めていく所存であること、そのために当協会と会員の協力が必要であることを強調した。

終わりに、県住宅供給公社理事長・宮澤茂夫氏、

設監連、並びに茨城、千葉、神奈川、東京、静岡、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、山口、九州、新潟の各設監協より頂戴した祝電が披露され閉会となった。出席者36人(内委任状2人)の盛会であった。

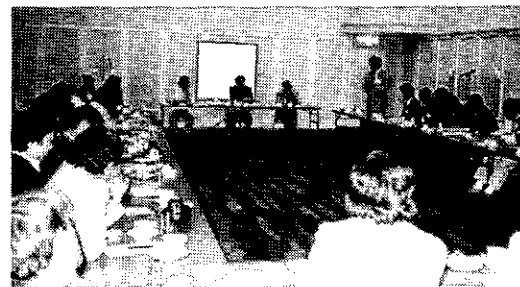
地域と協調性テーマに 建築家協会と懇話会

日本建築家協会関東支部の呼びかけで、東京の建築家と長野の建築家が一堂に会しての懇話会が6月22日、長野市で開かれた。

同支部からは、沖種郎支部長と同支部地域部会のメンバー18人が参加。地元からは宮本忠長氏、伊藤宗春氏ら我が県建築設計監理協会会員10人が出席した。テーマは「中央と地方の建築家の協調性のありかたについて」。松本・長野など地域の大型建築の多くが、大手建築設計事務所の単独設計という最近の受注事情から出たテーマ。

宮本会長は「中央と地方の建築家が協調することで、仕事を通じてプロジェクトを組める状況が好ましい」と提案。

沖種郎支部長は、日本と後進国の関係についてふれ「日本の一方的な建築技術の輸出状態が続いているが、受け入れる側の各国にもそれなりの技術力が生きづいている。日本の建築界に職能意識が確立されていないことが、こうした無配慮の状況を生み出している」とし、また「職能が確立されていると言われる欧米ではRIBA(英)、AIA(米)など数万人を擁する建築家の職能団体があり、専業建築家の一元



化が図られている。日本の職能意識が低いのは一元化が図られていないことによる」と、職能団体の一元化による職能意識の高揚を指摘した。

また長島孝一同支部地域部会長は「永住するという観点から、自分の住んでいる地域との関わりを深める努力をしている。このため地方のまとまったコミュニティで仕事をする建築家との交流は、反面教師のようであり大変参考になる」と地方建築家との協調に好意的な姿勢を示した。

同支部は当日、長野市周辺の主な建築や小布施の再開発などを視察し「木目の細かい質の高い建築が見学できた。地域の気候条件を栄養源に地域に根ざした建築を造る地元の建築家には学ぶことが多い」(長島氏)と各会員とも高く評価していた。

日本建築家協会関東支部の参加者は次のとおり。(敬称略) 沖種郎(関東支部長)、長島孝一(地域部会長)、赤谷達樹、東直彦、青木豊、大森康幹、小林道夫、小室勝美、斉藤孝彦、佐藤沢夫、椎名政夫、高橋志保彦、戸尾任宏、西村光彦、羽田他所夫、林正樹、平川國一、山添勝、吉岡三樹、菊地良一の各氏。

盛岡の“まちづくり”に感銘

—東日本連絡協議会に参加して—

会長 宮本 忠 長

東日本建築設計監理協会連絡協議会が6月14日、岩手県盛岡市郊外の磐温泉で盛会裏に開催され、当協会からは伊藤副会長、小松理事、笠井賛助部会長、そして私の4人が出席しました。

本年は会長県である岩手県建築士事務所協会のお世話で、諸事万端面倒をみていただきました。開催日の6月14日という設定も、翌日が岩手名物、というより東北地方の名物祭りのひとつで知られる「チャグチャグ馬子」祭りが盛岡市を挙げて行われるというご配慮からのもの。盛岡の皆様は心からお礼を申し上げたいと思います。

盛岡市では、新幹線の開通が都市環境に大きく影響を及ぼしており、県・市・民間を結集して積極的な“まちづくり”が実施されています。民間の諸団体、商工会議所をはじめ各界の代表がシンポジウムを数回重ね、それらを“まちづくり”の基本骨子として活用し、積み重ねることにより盛岡の盛岡らしい“まち”のあり方を探る努力をしています。その具体策として、盛岡のまちづくりの手引書（パンフレット）の配布や、‘盛岡都市景観賞’の設定があげられます。まさに官民一体となつての協力体制であり、たまたま盛岡市の村田指導課長さんのご講話を拝聴し、大変感銘を受けました。

総会は定刻通り、会会員100%出席。青森、秋田、新潟、山形、岩手、宮城、長野の各県各団体の役員さん達、総勢40数名に上る盛況でした。議事の内容は、本年度の事業・会計報告・監査と本年度の事業・収支予

算の確認。その後各県提出議案の検討に入り、長野県より提案させて頂いた議案につき全員で真剣に討議がなされました。

その主な内容を列挙いたします。①士法25条により提出された報酬に関して、各県下の事情はどうか ②(社)日本建築家協会、(社)日本建築士会連合会、(社)日本建築士事務所協会連合会、日本建築設計監理協会連合会の4会が合同でまとめた設計者選定方式(日本版)の取り扱いについては、建設省から各県、各自治体に配布してもらいたい。③設計入札・審査の不明、設計条件の不備な設計コンペは中止するよう、運動を自治体に提案する事。④地方建築家と中央建築家の協調性のあり方について、等々。①～④等について、各県の事情・見解を率直に意見交換を行いました。その結論を簡単にまとめますと、①は全員賛成。ただし長野を除いて、他県はほとんど士法25条の基準額が守られている事が判明。県発注業務も概ね士法25条通りであった。②全員賛成、ただケースバイケースと言うことも現実。慎重に取り扱うべきとの意見多数あり。③は入札はほとんど皆無。特名受注が一般的、またコンペもほとんど無し。従って長野県のような事情は理解できぬとの意見多し。④については全く同感。ただ中央の波を長野ほど受けていない様にも受け止められました。

以上の議事終了後、年に1度の楽しい懇話会が行われ、地酒を盃に盛り熱っぽく語る諸賢の雄姿に敬意を表しつつ、来年の開催地、秋田県にての再会を約す。翌日は「チャグチャグ馬子」の見学をし、正午解散となりました。

定勝寺に思う

㈱宮本忠長建築設計事務所 溝端利一



私と定勝寺の出合いは、昨年はまだ雪の残る2月末日のこと。木曾路十一宿の中でも古い宿場の面影を残す須原（木曾郡大桑村）の町はずれにある。慶長3年（1598年）に現在地に再建された本堂及び庫裡・山門は、重要文化財に指定されている。この重要文化財防災施設工事の設計監理を村から依頼され、現地を訪れたのである。



▲定勝寺庫裡。切妻造りの大屋根と白い漆喰が木部とみごとなコントラストをなす。

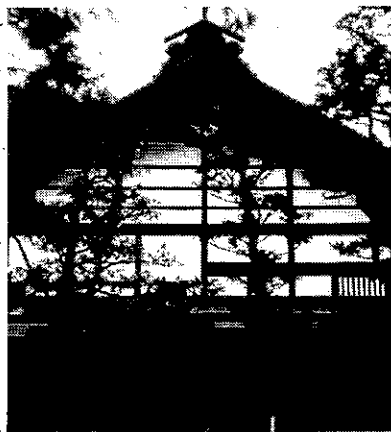
街道から石段を登りきり檜皮葺の山門をくぐると、良く整備された木立の中に切妻造りの大屋根と白い漆喰が400年近い歳月を経た木部とコントラストされ、目に飛び込んで来た。約八間の間口に対して屋根の勾配・破風板の幅・貫と束柱の構成、更に鬼瓦とその下に見る懸魚（けぎよ）とのバランスがすばらしい。

唐破風造りの玄関・土塀に囲まれた入母屋造りの本堂・屋根、の構成が違う3つの建物が一体となり、周囲の赤松と共に調和している。伊勢神宮等に見る神社建築（神明造、大社造）の切妻造りで構成された建物、

桂離宮に見る入母屋造りで構成された建物、これらが建築美であると信じていた私にとって考えさせられるものがあつた。庭木の配置・土塀による囲い等が自然に調和させている。我々が設計する上で、何が大切かを物語ってくれているようである。

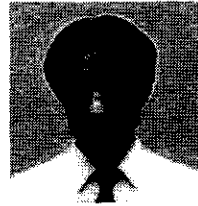
さて、恥ずかしい話だが、私はこの時まで定勝寺の存在を知らなかった。ましてや大桑村がどこに位置しているかも知らなかった。故に、地図を見、社寺建築等の本を購入し、大桑村及び定勝寺に関しての予備知識を得て、現地に赴いたわけである。何度となく足を運び、改めて購入した書物（寺と神社・松本木曾路の2冊）を見直したところ、掲載されている写真が逆（裏焼き）であることに気づいた。購入した2冊が2冊共である。これがどうしてかを追求するつもりはない。ただ私にとってひとつの教訓であったことには間違いはないのである。既に建築は、写真や図面のみで判断してはいけないと……。

今年6月15日、防災施設工事の竣工式が挙行された。途中、王滝村で大地震があり、周辺でもいくらかの被害を蒙った。だが400年の風雪に耐えた定勝寺には、一切の被害はなかった。ボックスに納めてある放水銃型の消火栓がこれからも使用されないことを願った。



調和のある空間

尾島建築事務所 依田博基



学生の頃、時雨のサラサラと静音をたて降りそそぐ京都の嵯峨野を歩いた事を思い出す。つゆに濡れそぼった松林、竹林に囲まれた小径を歩いて行くと、苔のはえた石段が現れる。雨に打たれた石段は水々しく、清楚な感じを与えてくれた。その石段を登りつめると、萱葺きの鄙びた山門に辿り着き、一息ついてから、そこをくぐり抜けると、時雨にひきしめられた古寺が姿を現す。なんとも不思議な安らぎを感じるのである。何百年もの歴史をもった古寺は、草木と同じ自然の恵みだったのかと思わせるように全く違和感など感じさせず、草木に同化するかのように自然の中へと解け込んでいく。

我国には春、夏、秋、冬とそれぞれ特有の雰囲気味わわせてくれる四季折々の情景があり、その時々あたりの風景は七変化する。その中でも梅雨の季節が一番しっとりとし、心に安らぎを感じるように思う。水々しく、又、青々と茂った草木の光沢のある色合いがなんともいい。日本の景色には雨が実によく似合う。騒然とした、ほこりっぽい町並も水に打たれることにより、汚れや騒音を洗い流し、しっとりとした雰囲気になってくる。

あたり周辺をぶらぶらして見ると(目につく小さなものまで入れると)、思いのほか公園が身近にたくさんあることに気がつく。それらの公園は人工のものがほとんどだが、そこには必ず「水」「光」「草木」によって構成された空間が拡がり、その空間へと人々は自然に安らぎを求めて集

まってくる。池の水は、草木にうるおいを与え、陽の光を四方に散乱させ輝きに変化を与える。自然の演出効果にはつくづく感心させられる。水と光の調和は空間にある種の活力を与えているのだろうか。しかし、公園の中の現状はというと、草木の上から池の中にまでゴミがあふれんばかりである。池の中の水藻は、古寺の小さな池に生えた水藻のような情緒は持ち合わせていない。汚らしく思えるばかりである。皮肉なことに、雨に打たれた水々しい草木なども、ゴミ処理のために設けられたゴミ箱ばかりが目につきその陰に隠れてしまい、しっとりとした気持ちにはなれないものである。なんとも歯痒いものである。同じ場所に居てもその時々あらゆる条件によって、かもしだされる空間というものそれぞれ異なって見えるものだ。「水」「光」をテーマにした空間づくりがよく見受けられる。「水」「光」など自然の恵みを住環境に取り入れ、コントロールすることによっていろいろな演出効果を生み出すことができる。

現代は、情報化の時代である。目まぐるしく動き回る社会情勢の中で人間の生活パターンも多様化を要求され、住環境も当然の事ながら多様化し、これら全てを把握することは非常に困難な状態である。我々は、多種多様な問題にうまく対処しながらも、その根底においては環境というものを理解し把握した上で、空間造りを進めていかなければならない。このせわしい世の中で悪戦苦闘している人々の人間らしい生活空間を築いていくことが我々の使命であり、変わらぬ課題であろう。

会員事務所作品紹介

(株)桂建築設計事務所

代表取締役社長 南島 宗市

本 社 飯田市桜町1-41 ☎0265-22-7234

東京事務所 小金井市中町3-22-10中町マンション405号

☎0423-84-1984

飯田創造館

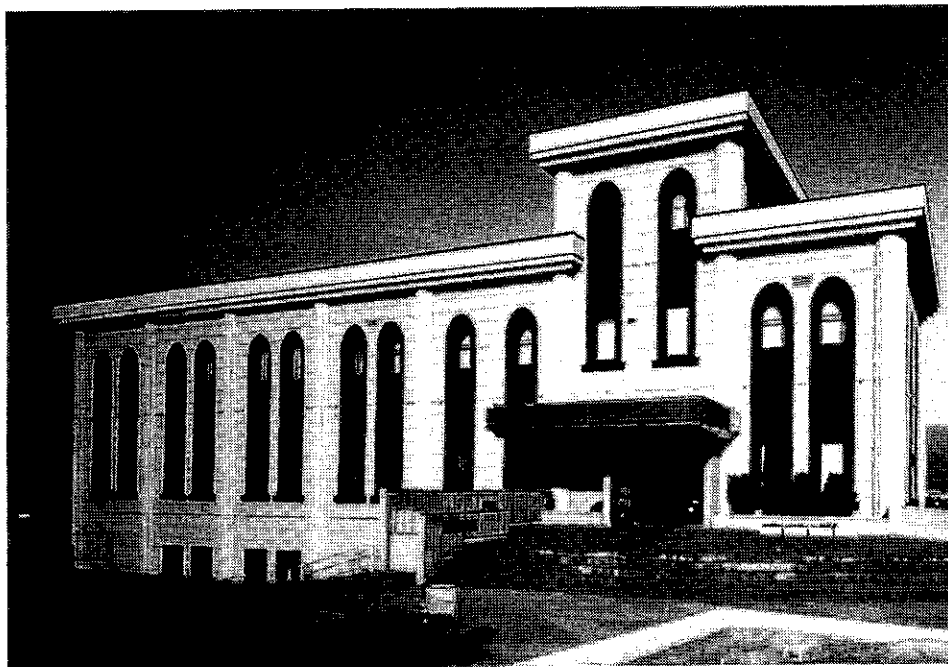
建設地／飯田市小伝馬町 構造／RC造4F 延面積／1,521㎡ 工期／1978年11月～1979年10月

生きがいに満ちた豊かな生活、温かな心のふれあう地域社会づくりに役立つことを目指し、積極的な創作活動、文化活動等の振興の場として工夫された建物である。

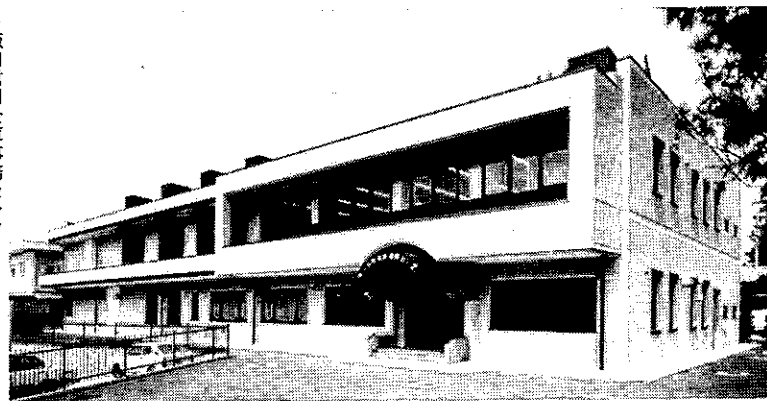
飯田信用金庫事務センター

建設地／飯田市箕瀬 構造／RC造2F 延面積／1,587.9㎡ 工期／1983年7月～1984年3月

建設地は市街地の比較的住宅が密集している地域にあるため、通風・日照について充分気を配った。また信用金庫の心臓部とも言える電算機センターであるので、埃・水・騒音に配慮し、また外部からの第三者進入防止の設備等も施されている。



▲飯田創造館
▶飯田信用金庫事務センター





◀豊丘村民総合体育館

豊丘村民総合体育館

建設地／下伊那郡豊丘村神稲 構造／SRC・RC・
上部S造3F 延面積／4,556㎡ 工期／1982年3
月～1983年3月

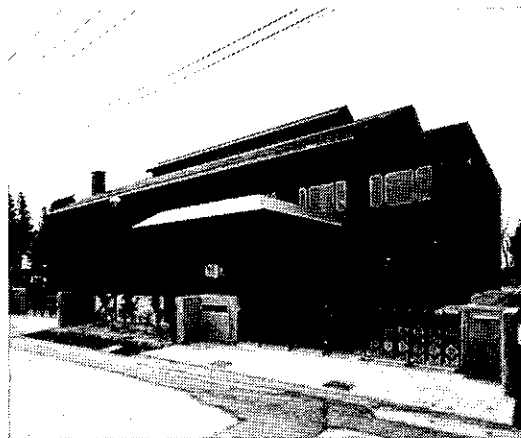
山間地の段丘にたつこの総合体育館は、傾斜地形を有効に活用して3階建てとしたが、どの階も避難階として利用できるように計画されている。

1階部分は駐車場、2階部分は柔剣道場・トレーニングルーム、3階部分は220席の観覧席を持つアリーナとした。

飯田消費生活センター

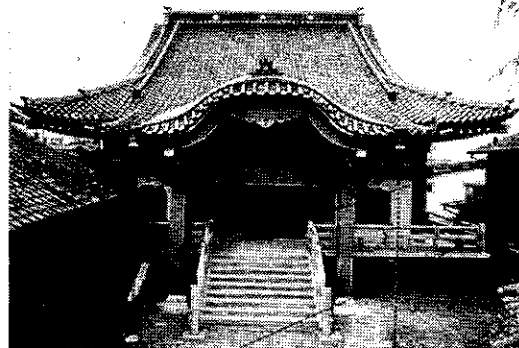
建設地／飯田市追手町 構造／RC造2F 延面積
／1,259.8㎡ 工期／1983年6月～1984年3月

建設場所は旧飯田城址であり、将来隣接して飯田市の文化的施設の建設計画がある。県の基本計画に基づいての設計であるが、特に外観・色彩等には留意した。



◀飯田消費生活センター

▼青松山黄梅院本院



青松山黄梅院本院

建設地／飯田市江戸町 構造／RC造2F 延面積
／362.2㎡ 工期／1983年4月～1984年5月

飯田市街地に建てられた本堂は、敷地が狭隘な上既設建物の庫裡が本堂と接近するため、既存との連絡、機能性を十分考慮して完成させた落ち着いた品位のある作品である。

英国における町づくり

信州大学教授 岡村勝司



世界に先駆けて産業革命を経験した英国では、19世紀に既に大都市への産業や人口の集中が顕著になり、住宅問題や公害問題解決が大きな課題となっていた。1830年代のコレラや天然痘の大流行は当時の都市の衛生状況の悪さを示すものであろう。

このような状況に対して種々の方策が講じられてきたのであり、1848年の「公衆衛生法」、1890年の「住居法」、1909年の「計画法」等の一連の法体系の流れの中に、その足跡をみることができる。そこに見る英国の町づくりの出発点は、住宅を中心とする生活環境の整備であり、その根本に「アメニティ」の思想があると言われている。

アメニティは「認識できるが定義するのはむずかしい」とされている程幅広い概念であり、「あるべきもの（例えば、温度・光・きれいな空気・家の中のサービス）があるべき場所にある全体としての快適な状態」、全体としての住み心地の良さと考えられている。このアメニティの思想は、建築家、計画家、行政官、市民の共通の認識になっており、都市計画行政の根底にある基本的概念となっている。

英国にはこのアメニティを維持し発展させるためのボランティアの団体が1,000以上（1973年時点）存在し、30万人を超える会員が参加している。日本でも知られている「ナショナル・トラスト」（1895年設立）はその中の一つであり、その他にも町づくりに関係するものとして、「古建築保護協会」（1877年設立）、「ジージングループ」（1937年設立）、「ピ

クトリア協会」（1958年設立）等がある。これらの団体の活動は一連の計画法の設定に少なからず関係しており、環境整備に対する市民の関心の強さと、町が市民の努力によって造られてきた一端を知ることができる。

アメニティの思想は町づくりの面で小さなコミュニティにおいて大きな力を発揮し、地方の町や村が大変美しいのもそのためである。そこでは古い家屋がていねいに維持されており、そうした家屋によって構成される街並みのうまいある美しさは、見る人を感動させずにはおかない（写真1～6）。

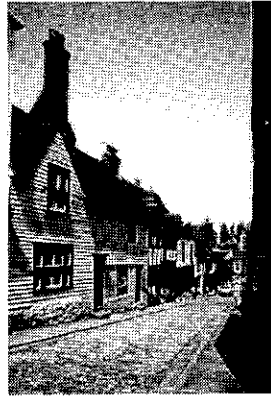
「英国の風景の大きな魅力は、国土に滲み通るように思われる道徳的感情であり、それは心の中で、秩序や安息や、落ちついた確実な原則や古いならわしや、崇むべき習慣などの観念とともに連想される。すべてのものが規則正しい長い平和な生活から生じたもののように思われる。……英国の風景の共通の特徴は、自国でつちかわれた道徳や郷土への愛着が世襲的に伝わっていることを示している。……他の国々では自然が未開の人里離れた場所で惜し気なく与える魅力が、英国では家庭生活という、人が常に出入りする場所のまわりに集められている」

この文章は、アービングが「スケッチブック」の中で英国の風景を描写した部分である。この風景の中に町や村の風景である街並みも並べて読みなおす時、この文章は、英国の風土と建物と人々の生活との関係、すなわち、町づくりの基本的な構造を実に適格に表現していると言える。

英国の まちづくり



1



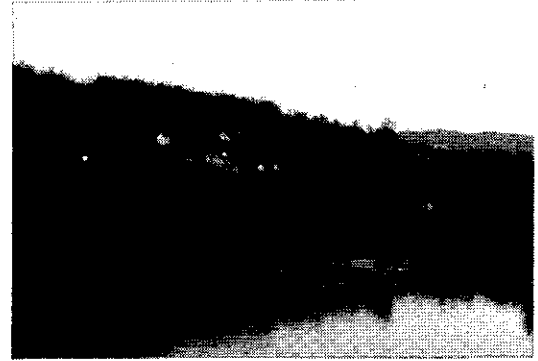
2



5



4



6

写真1・2 ライの街並み

ロンドン南東80kmに位置する港町。14世紀のフランス軍の攻撃により町の大半が焼失、その後復興して15世紀に入ると重要な港町として繁栄した。今も町のそこそこに当時の面影が残されている。

写真3・4 エンジバラ

スコットランドの首都、エンジバラの中心地にあるエンジバラ城とその傍らの建物群、プリンセスストリートからの眺め。プリンセスストリートはエンジバラの中心部を東西に走る商業集積の最も高い通りである。

写真5 レッチワース田園都市

1906年に建設された労働者階級の住宅地コモンを囲んで、点在する住宅と高い木の折りなすハーモニーの美しさは、見る人を感動させずにはおかない。その建物は、建てられた当時の状況をうまくうけついでている。

写真6 ペースの町

エンジバラの北方約50kmに位置する町。この町のほぼ中心を横切って流れるタイ川の川面を、サケがジャンプしながら泳ぎ登っていった。

テクニカルシート

日立ビル管理システム **BUILMAX** シリーズ
 株式会社日立製作所
 (県下販売代理店 松田産業株式会社)

ビル管理システムは、ビル内に設置される受変電、自家発電設備、衛生給排水設備、防災及び防犯設備を中央監視室で一括集中監視するシステムであり、省エネルギー、最適環境の維持、安全性、システム全体の信頼性の向上及び管理の向上と省力化を主目的としてあげています。この主目的のほか、建築側・工事側からのニーズとして、スペース効率の向上、配線工事の低減及び仕様の変更や増加に対する拡張性の向上があります。これらの多様なニーズに対応するためには、従来のワイヤードロジックを主体としたシステムでは不適であり、マイクロコンピュータや制御用コンピュータ、LSIやICなどのエレクトロニクス技術を十分に駆使したシステムとする必要があります。また、各種の制御機能を中央に集中させるのではなく、各所にマイクロコンピュータを設けて、それぞれにインテリジェントターミナル化を図り、機能と危険を分散させる分散制御方式とすることも必要です。これに最適な方式が日立ビル管理システムBUILMAXシリーズです。これはシステムをホスト(中央処理)、フロント(伝送制御及び監視操

作)及びフロントエンド(リモートステーション、プロセス側と入出力信号の取合い)の3階層に分け、それぞれの階層のインテリジェント化を図り、階層間の信号伝送はデジタル伝送方式を用いています。また、ビルの規模や用途毎に幅広く適用できるよう小規模向き・中規模向き・大規模向きの三つのシリーズ展開を行って同一の思想で構成をまとめ、ビルディングブロック式にシステムの拡張ができるようになっています。

断熱イソシア「サーマックス」 ヌレートボード


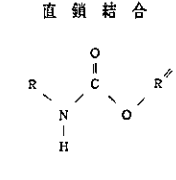
井上エムテーピー株式会社
 (県下販売代理店 株式会社炭平本店)

米国セロテックス社にて開発されたサーマックスは発売以来米国で18年、日本で6年有余を経過し、長野県下においても全域で御愛用賜り厚く御礼申し上げます。

サーマックスとは、長いガラス繊維で強化された硬質イソシアヌレートフォームを芯材に、アルミホイルや特殊面材で構成された断熱材です。

このサーマックスの芯材に使用されている硬質イソシアヌレートフォームは、初めスペースシャトル「コロンビア」に使用するために開発されたもので-422°Fの液体水素と-297°Fの液体酸素を貯蔵する高さ15524の主タンクの断熱に使用され、離陸した時周囲の空気中の水分の冷却を防ぎました。また通常のウレタンフォームより軽くて強靱でかつ耐熱性に優れています。

ヌレートフォームとウレタンフォームの違い

	ヌレートフォーム	硬質ウレタンフォーム	
化学反応	イソシアヌレート反応フォーム	ウレタン反応フォーム	
分子構造			
特性	耐熱性	120℃	80℃
	防火性	超難燃性~難燃性	可燃性~難燃性
性能		発煙最小	発煙量大
	(断熱係数)	0.016Kcal/mh℃(20℃)	0.022Kcal/mh℃(20℃)

断熱材として一番大切な断熱性能も、他の断熱材よりも優れており、押出発泡スチレンの1.6~2倍、グラスウールの約2.2倍の性能を有し、たとえば20³サーマックスは約38³のスチレン、約50³の16kgグラスウールに匹敵します。

最近結露問題がクローズアップされています。建物の用途・部位に対して、最適の断熱材を最適厚みで正しく施工すれば、結露問題は解消されるはずですが。そこで弊社では、施主、設計事務所及び建設会社の方々に、必要に応じマイコンにて結露診断サービスを始めました。是非御利用下さい。

サーマックスを要約しますと……

- ウレタン、スチレンよりも燃えにくく熱に強い。
 - グラスウール、ロックウールより水、湿気に強い。
 - しかも、ウレタンと同等以上の断熱性能。
 - 軽く、ナイフでの切断容易、長尺品もできる。
- サーマックスは省エネと快適な環境づくりに貢献します。

賛助会員名簿

会社・団体名	担当地	連絡電話番号	会社・団体名	担当地	連絡電話番号
鐘淵化学工業(株)	東京都港区元赤坂1-3-12(新坂センタービル)	(03) 405-1018	株 長 野 ナ ブ コ	長野市川中島町四ツ屋1216	(0262)84-1121
積水化成工業(株)	東京都新宿区西新宿2-1-1(新宿三井ビル)	(03) 347-9639	株 松 本 Y K K 産 業	松本市笹賀6010-3	(0263)26-4134
(株) ナ カ ジ マ	佐久市新子田1855	(0267)67-3669	三和シャッター工業(株)	長野市川合新田村西958	(0262)21-1130
(株) 甲 州 屋	長野市鶴賀七瀬東通り271	(0262)26-3101	新 日 軽 (株)	長野市青木島町大塚917-1	(0262)28-6711
(株) 富 倉 屋	長野市稲里町1-6-25	(0262)85-2011	長野県板硝子工業組合連合会	飯田市松尾2910-9	(0265)24-7555
綿半鋼機(株)	長野市南長池205	(0262)44-6500	セ ン ト ラ ル 硝 子	飯田市松尾3093-1	(0265)22-1601
(株) 本 久	長野市北長野通り3-601	(0262)41-1153	(株) 前 田 鉄 工 所	長野市吉田4-14-8	(0262)43-0261
(株) 角 藤	長野市東鶴賀町60	(0262)33-0101	中 信 電 機 (株)	長野市稲葉母袋沖772	(0262)27-1235
(株) 鍋 久	長野市若里1972	(0262)27-3115	株 松 田 産 業	長野市南長池古新田369-5	(0262)43-3222
(株) オ ー ク サ 本 社	佐久市野沢94-1	(0267)62-2345	株 東 陶 機 器	長野市中村259 昭和ビル5F	(0262)28-7828
前田製管(株)	長野市南堀651-7	(0262)44-5221	富 士 厨 房 設 備 (株)	長野市栗田175	(0262)26-3225
岩崎電気(株)	長野市川合新田3767	(0262)28-2585	共 和 化 工 (株)	東京都品川区西五反田7-25-19	(03) 494-1319
東洋プレコン工業(株)	岐阜市忠節町3-58	(0582)65-2311(代)	株 長 野 三 菱 電 機 機 器 販 売	長野市卸しセンター	(0262)28-7111
小町田デュロック(株)	松本市城西1-1-45百瀬ビル3F	(0263)36-0452	第 一 公 害 プ ラ ン ト (株)	長野市日詰沖1731	(0262)21-5520
藤村ヒューム管(株)	長野市中村町336-11	(0262)44-2282	(株) 遠 藤 厨 房 機 器 製 作 所	埴科郡戸倉町上徳間162	(0262)76-1100
(株) 日 創 建 材	長野市青木島1-18-13	(0262)83-1414	(株) 長 野 コ ク ヨ	長野市吉田3-2-12	(0262)41-0250
昭和鋼機(株)	新潟県新潟市笹口2-7-16	(0252)41-3125(代)	滝 澤 家 具 (株)	長野市北尾張部117	(0262)44-0131
(株) 栗 本 鉄 工 所	東京都港区新橋4-1-9	(03) 436-8233	(株) 岡 村 製 作 所	長野市栗田舎利田653(栗田ビル内)	(0262)27-2330
東日本旭化成建材(株)	東京都千代田区内幸町1-1-1	(03) 507-7574	サ ン リ ビ ン グ 長 野 営 業 所	長野市栗田653(栗田ビル内)	(0262)27-1528
(株) 丸 六 鋼 材 店	長野市小島田町中村西沖1875	(0262)85-3606	ホ ー チ キ (株)	長野市鶴賀七瀬町578-10	(0262)28-3622
富国物産(株)	長野市東和田806	(0262)43-1321	ニ ッ タ ン (株)	長野市青木島町1-36-7	(0262)27-5528
昭和興産(株)	大町市大町6850	(0261)22-3944(代)	岩 月 瓦 工 業 (株)	佐久市太田部312	(0267)62-0336
(株) 炭 平 本 店	長野市北長池1667	(0262)43-6111(代)	大 日 本 塗 料 (株)	長野市南高田中下河2101	(0262)21-3000
大同コンクリート工業(株)	名古屋市中区栄2-9-3兼松工商名古屋支社ビル3F	(052)203-1381	日 本 ス テ ン レ ス (株)	東京都新宿区本塩町8-2	(03) 358-2511
(株) サ ン ゲ ッ ツ	長野市早苗町82	(0262)35-3543	田 島 ル ー フ ィ ン グ (株)	東京都千代田区岩本町3-11-13	(03) 863-5631
(株) 岩 野 商 会	長野市三輪6-26-22	(0262)34-1661	坂 田 工 業 (株)	長野市妻科434	(0262)34-3168
(株) ニ チ ベ イ	長野市三輪1-9-18	(0262)44-7767	古 河 電 気 工 業 (株)	東京都千代田区丸の内2-6-1	(03) 286-3482
田島応用化工(株)	松本市双葉3-2	(0263)27-1841	矢 崎 総 業 (株) 長 野 支 店	長野市高田1744-1	(0262)43-5133
信越化学工業(株)	長野市中村町259	(0262)28-9104	(株) イ ト キ 長 野 支 店	長野市中御所町3-63	(0262)28-3288
立川ブラインド工業(株)	松本市白坂2-4-21	(0263)34-1790	立 山 ア ル ミ ニ ウ ム 工 業 (株)	長野市青木島町大塚1106	(0262)84-9565
(株) シ マ コ ー	松本市笹賀7600-2	(0263)58-0456	サ ン エ イ (株)	長野市上高田1260	(0262)27-9731
シンコー(株)	長野市稲葉母袋沖614	(0262)21-5881	桜 井 塗 装 工 業 (株)	長野市栗田1021-16	(0262)28-3723
三協アルミニウム工業(株)	長野市三輪1-1-26	(0262)44-1101	日 本 屋 陶 器 瓦 協 業 組 合	下伊那郡喬木村1388-2	(0265)33-2150
ヤマキ工業(株)	須坂市八町1896	(0262)45-1015	(株) 寺 岡 オ ー ト ・ ド ア 長 野	松本市芳川村井町255-5	(0263)58-0777

会務報告

4月27日＝賛助部会(県民文化会館)。メーカーリスト制定について打合せ会。宮本会長、尾島副会長、須田理事、他賛助会員49名出席。

5月7日＝賛助部会(建築士会館)。メーカーリスト制定について打合せ会。宮本会長、須田理事、内装関係6社出席。8日＝長野県増改築キャンペーン実行委員会総会(上田市上小建設会館)。尾島副会長出席。17日＝(社)長野県建築士会総会(小諸市文化会館)。尾島副会長出席。18日＝日本建築設計監理協会連合会文化講演会(水戸市常陽芸文センター)。宮本会長出席。20日＝第1回理事会(松本市「サンルート松本」)。議題は①第17回通常総会について②連合会報告③59年度事業及び決算報告④60年度予算及び事業計画⑤その他。22日＝第8回公益広報委員会(建築家会館)。尾島副会長出席。27日＝長野県増改築推進キャンペーン実行委員会合同部会議(上小建設会館)。尾島副会長出席。

6月14日＝東日本建築設計監理協会連絡協議会総会(盛岡市繁館)。宮本会長、伊藤副会長、小松理事、笠井賛助部会長出席。26日＝日本建築設計監理協会連合会総会(建築家会館)。尾島副会長出席。22日＝60年度第17回通常総会(長野市長野厚生年金会館)。

7月20日＝第10回技術交流会(長野市山王共済会館)。(株)炭平本店：井上MT P(株)「ウレタン断熱材サーマックス」取扱商品の説明。松田産業(株)：「ビル管理システムと最近のエレベーター技術動向」について説明。同＝第2回理事会(長野市山王共済会館)。議題は①連合会報告②新会員の加入状況報告について③新賛助会員の加入状況報告について④各委員会報告⑤その他。

[正会員名簿]

事務所名	代表者名	所在地	電話番号
飯島一級建築士事務所	飯島和夫	〒390-03 松本市大字岡田松岡25-12	(0263) 46-2268
(株)伊藤建築設計事務所	伊藤宗春	〒390 松本市城西1-8-19	(0263) 32-8200
(株)エア・ハイツ設計事務所	斉藤英彦	〒385 佐久市大字猿久保780-6	(0267) 68-2311
尾島建築事務所	尾島正吉	〒386 上田市踏入2-11-8	(0268) 22-0645
(株)桂建築設計事務所	南島宗市	〒395 飯田市桜町1-41	(0265) 22-7234
久保田建築設計事務所	久保田三代	〒389-25 下高井郡野沢温泉村9604	(0269) 85-2121
計画工房都市建築設計事務所	佐藤友治	〒380 長野市大字上千歳町1413	(0262) 34-2501
小松一級建築士事務所	小松蒼一	〒390 松本市開智2-1-12	(0263) 35-5665
(株)坂本建築事務所	坂本三郎	〒391 茅野市宮川5425-1	(0266) 72-6128
(株)城取建築設計事務所	城取義直	〒396 伊那市大字伊那5561	(0265) 72-7271
(株)マルタ建築事務所長野出張所	須田考雄	〒380 長野市県町459 旭町ビル	(0262) 32-1616
(株)みすゝ設計	松下重雄	〒399-25 飯田市本町3-30	(0265) 52-1638
(株)宮本忠長建築設計事務所	宮本忠長	〒380 長野市柳原1875-1	(0262) 41-5510

編集室から

例年よりひとときわ厳しかった長い梅雨が明け、雲も空もまぶしくなってきた。だが身近には、情報の渦の中に生きる現代人が消化不良を起こしはしないかという心配事もある。コンピュータに任せられるものはどンドンぶちこんでしまってもよいが、インデックスだけでは何とも心細い限りである。私達の脳には一生使われずに終わる細胞がたくさんあるという。新しい活力を得て、脳をフルに活用できるような医学の開発は行われないものであろうか。そうすれば世の中は大きく変わるであろう。

長野県建築設計監理協会会報第11号

昭和60年7月29日発行

編集人／小松蒼一 発行人／宮本忠長

発行所 長野県建築設計監理協会

作成 長野県建設工業新聞社

豊富な経験

確かな技術で

責任施工

(総合建築防水)

坂田工業株式会社

長野市妻科434
TEL 0262-34-3168(代)
FAX 0262-34-0277

床暖房システム 融雪システム

電気、温水による床暖房や屋根、道路の融雪システムにより冬の快適ライフをお届けします。

快適な生活環境づくりにとりくむ

古河電工

本社 東京都千代田区丸の内2-6-1 ☎(03)286-3480
名古屋支店 名古屋市中区東桜2-22-18 ☎(052)931-8871
大阪/九州/広島/東北/札幌/高松/富山/浜松/豊田/沖縄

優しいサイエンスが生んだ椅子。



KOKUYO

優しい曲線の中に、人間工学に基づいた先進のメカニズムを満載して、椅子を超えた椅子が、いま生まれました。

先・進・の・椅・子

BIO

BIO-TECH CHAIR

ココヨ

バイオテックチェア

(株)長野ココヨ 長野市吉田3-2-12 ☎(0262)41-0250
(株)長野ココヨ塩尻営業所 塩尻市大字広丘堅石2145-24 ☎(02635)2-2166

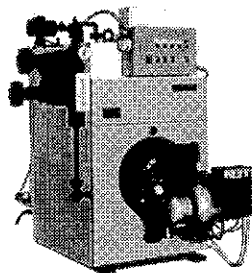
アルミサッシュ、カーテンウォール、
型鋼カーテンウォールの総合メーカー

昭和鋼機株式会社 新潟営業所

新潟市笹口2丁目7番16号(和田ビル)
TEL 0252-41-3125
本社 東京都板橋区前野町6丁目1番10号
TEL 03-969-1101

優れた寿命、性能、経済性

鋳鉄製 前田真空式温水ヒータ



MFV シリーズ

- 省エネルギー
- 省力
- 省スペース

70余年の伝統が
生きています。



株式会社 前田鉄工所

取締役社長 前田 市也

本社・工場 長野市吉田4丁目14-8 ☎(0262)43-0261
営業所 東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、広島、長野



長野県建築設計監理協会